

第6部 総合診療医の活動に関するモデルとなる事例集

沖縄県における総合診療医の「島医者」としての活動2

島医者はどのような仕事をしているのか

～伊平屋村の実践事例～

船戸真史¹

要旨

伊平屋村は沖縄県最北端に位置する有人離島であり、筆者は村内で勤務する唯一の医師、即ち島医者（しまいしゃ）である。本島への医療アクセスが地理的に限られていることから、島医者には島民全ての健康問題に対応する幅広い診療能力が求められており、更に学校保健、感染対策、終末期医療など、島内におけるヘルスケア全体に関わる幅広い役割を担っている。

筆者は卒後総合診療専攻医として研修し、2016年に赴任。直後より地域ケア会議の立ち上げに携わり、多職種連携を基本に地域課題へのアプローチを行った。2年間の活動の結果①認知症早期発見ワークショップの開催②アドバンス・ケア・プランニングの推進③B型肝炎ワクチンの接種対象拡大に貢献した。このように、総合診療医は、特に医療従事者の少ないへき地・離島において、利用可能な地域医療資源を効率化・最大化させるコミュニティリーダーとして重要な役割を果たしている。

①取り組みの背景

伊平屋島と野甫島から構成される伊平屋村は、沖縄本島の今帰仁村運天港から約40km北西の東シナ海洋上に位置する県最北端の有人離島である。さとうきび、米、肉用牛を中心に第1次産業就業者が18%を占め、島全体をサンゴ礁と瑠璃色の海に囲まれた自然豊かな島であるが、戦後人口は1975年の1,638人をピークに減少を続け、2015年の国勢調査では1,238人と過疎化が進行している¹⁾。原因の一つとして、島内には高校がないため子どもたちが中学卒業と同時に本島の高校へ進学せざるを得ず（一般に「島発ち（しまだち）」と呼ばれる）、更にそのまま島外で就職・移住する結果、生産年齢人口が低下してしまう事が考えられている。

このような理由から介護人材となる若い世代が慢性的に不足しており、特に訪問型介護サービスが提供できない点において、沖縄本島と離島の格差は深刻である²⁾。入所機能を備えた生活支援施設も常に

満床であり、高齢者は加齢や病気によって日常生活機能がわずかに低下しただけでも、島内での生活継続は困難に陥ってしまう。伊平屋村の高齢化率は26.6%³⁾と全国平均と同程度のように見える一方で、このような事情から島外転居を余儀なくされた高齢者が一定数いるという背景も考慮して解釈しなければならない。

島内の医療機関は当院のみであり、赴任した医師は島で唯一の医師、即ち「島医者（しまいしゃ）」と呼ばれる。本島への医療アクセスは1日2便のフェリーで80分を要し容易には受診できない。そのため、島医者は0歳の新生児から100歳の高齢者まで、島民全ての主訴や疾患に適切に対処する能力が求められている。同時に島の医療を代表する立場として、学校医、産業医、感染症対策、終末期医療、地域包括ケアシステムの整備など、ヘルスケアに関する幅広い役割を担っている。筆者は島医者を目指して沖縄県立中部病院にて2年間の初期臨床研修を終えた後、更に2年間同院及び沖縄県立宮古病院にて産婦人科、小児科、整形外科、皮膚科等幅広く総

1. 沖縄県立北部病院附属伊平屋診療所

合診療研修を行い、卒後5年目の2016年4月より伊平屋村に赴任した。

②導入の経緯 ③事例の詳細 ④成果

伊平屋村の主なヘルスケア担当者は住民課職員(保健師2名を含む)、ヘルパー、介護支援専門員等である。住民課職員は少ない人数で他の自治体と同数の社会保障事業を所管せねばならず、多忙である。更に非医療従事者が多く、専門外の保健医療について政策立案を行うノウハウに乏しい。ヘルパーら現場職員も人材不足により日常業務をこなすのが精一杯の状態である。

そこで筆者は2016年4月の赴任直後から地域医療構想の中核である「地域ケア会議」⁴⁾の開催を提案し、毎月ヘルスケアに関わる全職員を集めて、島の健康問題全般について話し合う場作りを行った。会議は複雑な健康問題を抱える高齢者の支援策を話し合う個別事例検討から始まったが、回を重ねるにつれて繰り返し言及されるテーマについては、次第に島全体が抱える「地域課題」へと収斂し、ヘルスケア担当者間の共通認識となった。

筆者は会議の中で主に各ステークホルダーの意見をヒアリングし調整すると共に、ヘルスケア関係者だけでは解決できない課題は積極的に行政施策として検討するよう促す役割を担った。

この取組みを2年間継続した結果、一部の地域課題に対しては具体的な施策を実践するに至った。その事例を下記に記す。

1. 認知症早期発見ワークショップの開催

筆者は日々の外来診療において認知症高齢者の易怒性や被害妄想等による介護困難について相談される機会が増えている事に気づいた。これを地域ケア会議の議題にした所、保健師も同様に認知症高齢者の徘徊について住民から訴えが挙がっている事を認識していたことが判明した。そこでこの問題の原因分析を行った所、「家族や地域が認知症の初期症状に気づかず、適切な医療機関へ繋がっていない事」が地域課題として明らかとなった。これを受け筆者は住民課と認知症初期集中支援チーム⁵⁾を結成し、2017年9月15日に認知症に関する住民参加型ワークショップを開催した。当日は民生委員、区長、駐在、共同売店店員などの多職種から参加が得られた。

ワークショップでは、筆者から認知症の症状について講演した後、日頃地域で気になっている事例の共有を行った。結果として認知症の初期症状につい

て理解を深め、早期発見にむけた連携体制の強化を行うことができた。

2. アドバンス・ケア・プランニングの推進

人生の最終段階へと向かう期間のケアにおいて、特に島内の限られた医療資源の中で「歳を重ねても最後まで島で暮らしたい」という高齢者のニーズに応えるためには、当事者や家族に加え、ケアに関わる全てのメンバーが集まって予めケアの方針について話し合う「アドバンス・ケア・プランニング⁶⁾」の実践が必要である。筆者は介護支援専門員やヘルパーに呼びかけ、高齢者に何らかのライフイベント(退院直後や施設入所時等)が生じた時を契機に面談を実施し、そこに当事者・家族と共にケア提供者として参加して頂くよう協力を要請した。

筆者赴任後、2016年4月より執筆時点(2018年2月11日)まで延べ20回の面談を行い、本人の了解が得られた場合は日本臨床倫理学会が提供する事前指示書⁷⁾の作成支援まで行った。家族やヘルパーから「当初は利用者がご飯を食べなくなると不安であったが、事前に話し合いがされているお陰で、穏やかな気持ちでケアをすることができた」との声が聞かれるようになり、成果を実感した。取り組みの結果、2年間で6名の島内看取り(内5名が老衰)を行うことができた。

3. B型肝炎ワクチンの接種対象拡大

B型肝炎ワクチン(以下HBVワクチン)は、その安全性と有効性からユニバーサル・ワクチンとして平成3年より世界保健機関から各国へ接種が勧告されているにも関わらず、日本は世界に遅れて2016年10月にようやく定期接種化された⁸⁾。しかしこの法改正は2016年4月1日以降に出生した者しか適応されず、それ以前に出生した任意接種対象者は依然としてワクチン・ギャップの影響を受けている。保健師から上記について相談を受けた筆者は、欧州のCatch up schedule⁹⁾や、19歳以下のHBV未接種者にもHBVワクチン接種が推奨されている米国のエビデンス¹⁰⁾について示し、助言を行った。結果、2011年4月1日以降に出生した者まで、5年分のHBVワクチンの任意接種費用を村が追加助成する方針が決定され、執筆時点までに延べ56名の乳幼児が無償でHBVワクチンを接種する事ができた。

⑤今後の展開

これまで本村における地域ケア会議は、厚生労働省の示す地域ケア会議の5つの機能¹¹⁾のうち「個

別課題解決機能」及び「地域課題発見機能」を有していた。そこから更に有効な対策を検討するため、筆者は2年間の活動から得られた地域課題、特に深刻化する介護人材不足をより包括的に検討する場の開催を各所へ呼びかけ、2018年12月11日に住民課課長、社会福祉協議会会長ら管理職を含む介護問題検討会を開催した。その結果、村として訪問看護職員を雇用する案がまとまり、執筆日時点で予算化と求人に向けて動き始めている。このように離島では担当者間の顔が見えやすく、必要時に集まるのが容易であることから、今後地域ケア会議は、地域課題対して速やかに対策案を打ち出せるよう「政策形成機能」としての場として活用されていく事が期待されている。

<考察>

①事例に総合診療医の専門性がどう生かされたか

筆者が研修した総合診療専門研修プログラムでは、一般的な健康問題について適切にマネジメントする能力を養うだけでなく、地域包括ケアを含む地域志向アプローチを行う資質や、多職種との連携を重視したマネジメントを行う能力を備えられる様に、島での実践を通して学びながらトレーニングを行う¹²⁾。

上記事例の通り、筆者は総合診療医として日々の診療から気づいた問題意識を地域で展開し、多職種とのコミュニケーションを深化させて地域課題を明確化し、具体策を地域住民と実践するまで主導的な役割を果たした。

②タスクシフティングの可能性（臓器別専門医の負担軽減、多職種連携など）

③医療や社会に与えるインパクト

このように総合診療医は、特に医療従事者の少ないへき地・離島において、利用可能な地域医療資源を効率化・最大化させるコミュニティリーダーとして重要な役割を果たしている。また、地域の健康課題を俯瞰的に捉え、それぞれの地域ニーズに合わせた柔軟性の高い政策立案支援を行う事ができるため、今後の地域医療において中核的な役割を果たす地域包括ケアシステムの整備に資する事も可能である。

④他の地域での応用可能性とその実現のために必要な事項

Kringos¹³⁾らの研究では、これらプライマリ・ケア機能の強化が不必要な入院の減少、社会経済不平等の改善、地域集団における健康状態の改善が相関

していることが示されており、伊平屋村で行われた金子らの研究¹⁴⁾でも、へき地・離島など高度医療へのアクセスが地理・社会経済的に制限された地域で総合診療医がゲートキーパーとしての役割を果たす事で、死亡率を低下させずに救急受診や入院を減少させる可能性が示唆されている。

以上より離島における総合診療医の存在は、都市-へき地間の健康格差の改善や臓器別専門医の負担軽減に繋がると期待される。

文献

- 1) 平成27年国勢調査
- 2) 沖縄タイムス 2017年9月10日. <http://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/139957>
- 3) 沖縄県 離島関係資料（平成27年1月）. <http://www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/chiiikirito/ritoshinko/documents/chapter1h27.pdf>
- 4) 厚生労働省HP 地域ケア会議について. http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/chiiiki-houkatsu/dl/link3-1.pdf
- 5) 厚生労働省HP 認知症初期集中支援チームについて. <http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-12600000-Seisakutoukatsukan/0000035310.pdf>
- 6) 厚生労働省 人生の最終段階における医療の普及・啓発の在り方に関する検討会 資料. <http://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000173561.pdf>
- 7) 日本臨床倫理学会. <http://square.umin.ac.jp/j-ethics/workinggroup.htm>
- 8) B型肝炎ワクチンの定期接種について. IASR Vol. 37 p. 156-157: 2016年8月号. <https://www.niid.go.jp/niid/ja/allarticles/surveillance/2347-iasr/related-articles/related-articles-438/6679-438r06.html>
- 9) Hepatitis B vaccination in Europe November 2008 - March 2009. The Health Protection Surveillance Centre European Centre for disease Control VENICE II project. http://venice.cineca.org/Report_Hepatitis_B_Vaccination.pdf
- 10) Morbidity and Mortality Weekly Report (MMWR). Prevention of Hepatitis B Virus Infection in the United States: Recommendations of the Advisory Committee on Immunization Practices. Recommendations and Reports / January 12, 2018 / 67(1); 1-31. <https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/67/rr/rr6701a1.htm>
- 11) 安次嶺馨. 良医の水脈 ～沖縄県立中部病院の群像有限公司 ボーダーインク 2016年

- 12) 沖縄県立中部病院 総合診療研修プログラム.
https://chubuweb.hosp.pref.okinawa.jp/unihawaii/program_pri.pdf
- 13) Kringos DS, et al. Health Aff (Millwood). 2013 Apr; 32(4): 686-94.
- 14) Makoto Kaneko, et al. BMC Health Serv Res. 2017; 17: 37.
ホームページの最終閲覧日はいずれも 2018 年 4 月 15 日